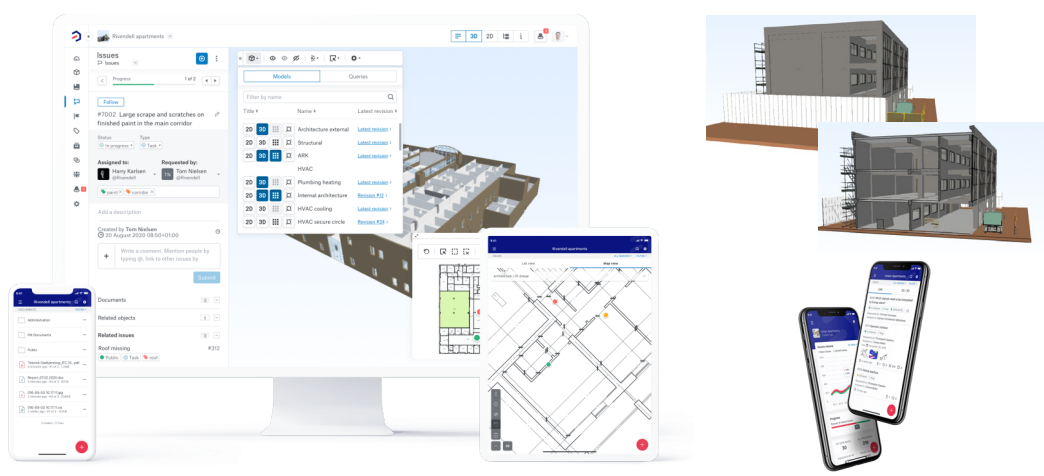


## openBIMに準拠したデータストックCDE

## BIMコラボレーションプラットフォーム

## 開発の背景

2009年にノルウェー・オスロに拠点を置くIFC・BCF等に準拠したオープンBIMコラボレーションとプロジェクト管理のプラットフォームを開発しているCatenda社で誕生したベンダーに依存しない中立性のある革新的ソリューションです。

## 技術の用途

buildingSMARTの国際標準に準拠した、IFC、ifcXML、ifcZIP形式でIFC2x3に対応。IFCver4もフルサポート。CDEプラットフォームでBIMプロジェクトをホストし、API等を介してデータアクセスします。

## Catenda

## Bimsync

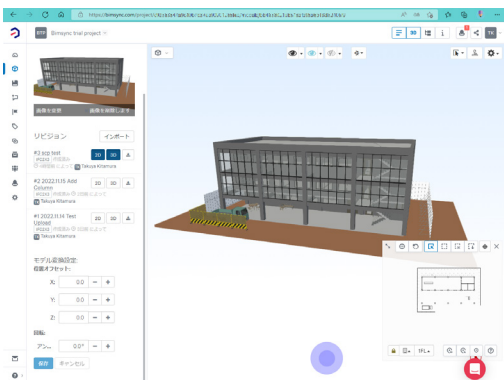


プロジェクト全体をつなぐプラットフォーム

## 機能

Bimsyncをデータストックの中心に  
建物のライフサイクル全体で、データ・ツール・人をつなぐ

openBIMに準拠し、IFCサーバ機能でデータをストックしBCFサーバ機能で各工種の調整会議の簡易化・干渉や金額の問題に関連するドキュメントとBCFを紐づけることにより合意形成のスピードを早めます。プロジェクトチームのメンバーは特定の問題に対して現在のステータスをマークすることができ、ワークフローの効率化とコミュニケーションの質が大幅に改善されます。



ウェブブラウザによる3D/2Dビューワー実装

## 導入効果

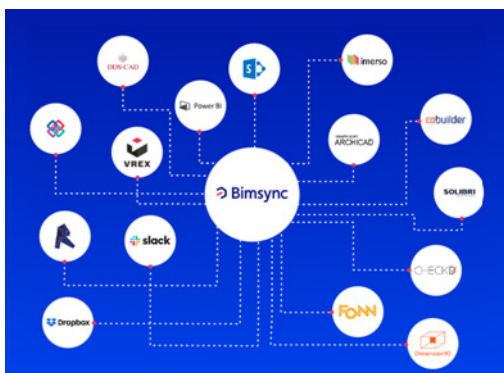
ウェブブラウザで簡単にBIM3Dモデル・2D描画を確認  
建築ワークフローの改善に効果を発揮します

## 今後の可能性

Bimsync Boost (API連携) と組み合わせることにより、IFCデータに登録されている「属性情報」を体系的に各システムと連携することができます。この機能によりBIMデータの様々な転用をするIFCデータプラットフォームとなり、大きなメリットを生み出し続けます。

## 特徴

BIMソフトウェアに縛られない、openBIMに準拠したプラットフォームと、長期的なIFCデータ運用維持にはリビジョン管理と外部へのシームレスな連携が必要であり、この全てをコンプライートしていることが最大の特徴です。集約したデータは簡単に閲覧できるため、各フェーズの運用中にデータを探す手間なく素早くチェックが行えることから業務効率化に貢献します。



ツールを横断する統合力でチームを強化